

## 申4号2016年度 年末手当 第2回交渉

### 各部会・系統からの声を会社にぶつける!!

#### 運車

- ・収益増は系統を問わず要員が逼迫した状況の下、安全輸送・安定輸送確保のため休日を返上してまで頑張った成果だ。
- ・本来適正要員を配置すべきところ。組合員の努力により運休もなく安定輸送を確保している。超勤代を支払えば済むという問題ではない。

#### 営業

- ・駅総体、様々な部署が協力し合いながら旅行業で働く組合員も含め、今後の駅のあり方に不安を抱きながら収入の確保に向け日々努力している。
- ・鉄道会社の使命である、安全を基軸とした輸送サービスを向上させるべく奮闘している日々の努力にこたえるためにも満額回答を求める。

#### さかく

- ・会社の打ち出した施策を先頭に立って推し進めているのはさかく部門で働く組合員。
- ・異常時には本来業務を差し置き、早期復旧を目指して駅や現場支援に駆けつけ、指令とも一緒になり対応している。

#### 医療

- ・医療部門は社員の健康管理・地域貢献のため日々業務に当たっている。
- ・特定保健指導では国の目標を目指し頑張り続けているし、再検査の受診率向上などに取り組み社員の健康を通して、安全・安定輸送に貢献している。

#### 工務

- ・安定輸送・設備事故防止のため、工務職場は昼夜を問わず検査・修繕・工事を行い健全な設備の維持に努めている。
- ・多客期輸送前の点検や、予想される自然災害の警備体制はもとより、起こってしまった異常時も迅速に対応し、早期復旧の一翼を担っているのは工務の現場社員。

#### 建工

- ・駅改良や建設工事プロジェクトなどのハード面はもとより、JR 東日本アプリの開発などソフト面からも経営基盤を確実に強化している。
- ・安全面でも、過去の事故の教訓を活かし、ルールを愚直に実践し、今年度重大災害は0。組合員の努力が結果として表れている。

#### かんい

- ・限られた時間の中で技術継承をはかり、鉄道会社社員としてお客さまの命を預かるプロフェッショナル・「本質」を理解する社員を育成すべく、かんい部会は日々奮闘している。
- ・組合員のモチベーションの維持・向上を図るために、申し入れや職場の声を真摯に受け止め満額回答すべき。

#### 青年部

- ・どの職場でも少ない要員の中、若手組合員は奮闘している。
- ・世代交代が大きな課題の当社において、次代を担うのは若手組合員だ。設備投資は将来に向け必要だが、その設備を扱うのは「人」。手当という人への投資を要求する。



会社は組合員の努力に応えるべき!  
全職場からたたかいをつくりだそう!